

研究 主題	多くの他者との関わりを通して自らの課題を解決する資質・能力を育む 探究的な学習の指導法 — 第3学年の進路学習を題材として —
----------	---

第3学年 総合的な探究の時間学習指導案

指導月日 令和6年10月23日
 所属校名 宮城県南三陸高等学校
 氏名 早坂 祥

1 単元名「進路探究～自らの進路をデザインする～」

2 単元の目標

実社会や実生活と自己との関わりから立てた課題の解決に向けて、主体的・協働的に取り組むことにより、これからの自分自身の生き方を見だし、日常の生活に生かすことができるようにする。

3 単元観

第1学年の単元「自己の進路を考える」では、大学見学会や企業見学を通して自らの視野を広げ、第2学年の単元「進路実現への歩み」ではジュニアインターンシップ等の活動を通して望ましい職業観、勤労観を養ってきた。第3学年の単元「進路探究～自らの進路をデザインする～」では、第1学年で身に付けた自らの進路を広く捉える視野と、第2学年で培った職業観、勤労観を生かし、生徒自ら実社会に関わる課題を立て、それらを多くの他者と協働することで解決する活動を行う。この活動を通し、他者の考えが自らの思考の枠組みを広げてくれることを実感し、多くの他者と協働しながらよりよい生き方を探究していくことができるように学習を進めていきたい。具体的には、大学や短大、専門学校等の資料や、企業のホームページ、資料等を参考に、社会で求められる共通の資質・能力を、他者と協力しながら進路への意識を高め合う時間を設定する。この活動で発見した問いに対して、自分なりの考えをまとめ、それに対する他者からの意見を取り入れて更に精度を高めることにより、生涯にわたって探究をし続けることができるようにしていきたい。また、卒業後に目指したい自らの姿のイメージを発表し、多くの他者からフィードバックを受ける時間を設定する。この活動を通して多くの他者から意見をもらい、目指したい自らの姿に生かすことができるようにしていきたい。なお、多くの他者については、クラスという枠にとらわれず、学年全体、さらには保護者にまで範囲を広げることで、自分の視野が広がることを実感できるようにしていく。

4 生徒の実態 [第3学年3組15名]

本研究の対象である3年3組は、普通科文理系のクラスであり、男子10名、女子5名、計15名である。探究活動に関する実態を把握するために行った、授業実践Ⅰの事前調査の結果が図1である。「あなたは普段の授業の中で、他者と関わることの価値を感じていますか」に対して「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は約60%であった。一方で、このことから約40%の生徒が他者との関わりに価値を感じていないことが想定される。また、「あなたは他者とコミュニケーションを取ることが得意だと思いますか」に対して「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が約40%であることから、約60%の生徒が他者との関わりを不得意だと感じていると考えられる。加えて「あなたは普段の授業の中で、疑問や問題点を見つけるのは得意な方ですか」に「当てはまる」または「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒は約50%である。これは、問題を意識する経験が不足していることが原因だと考えられる。

本授業を通し、多くの他者から意見を取り入れることが、疑問や問題点を見付けたり、課題を立てたりする上で、生徒自身の考えの幅を広げてくれる方法であることを実感させたい。

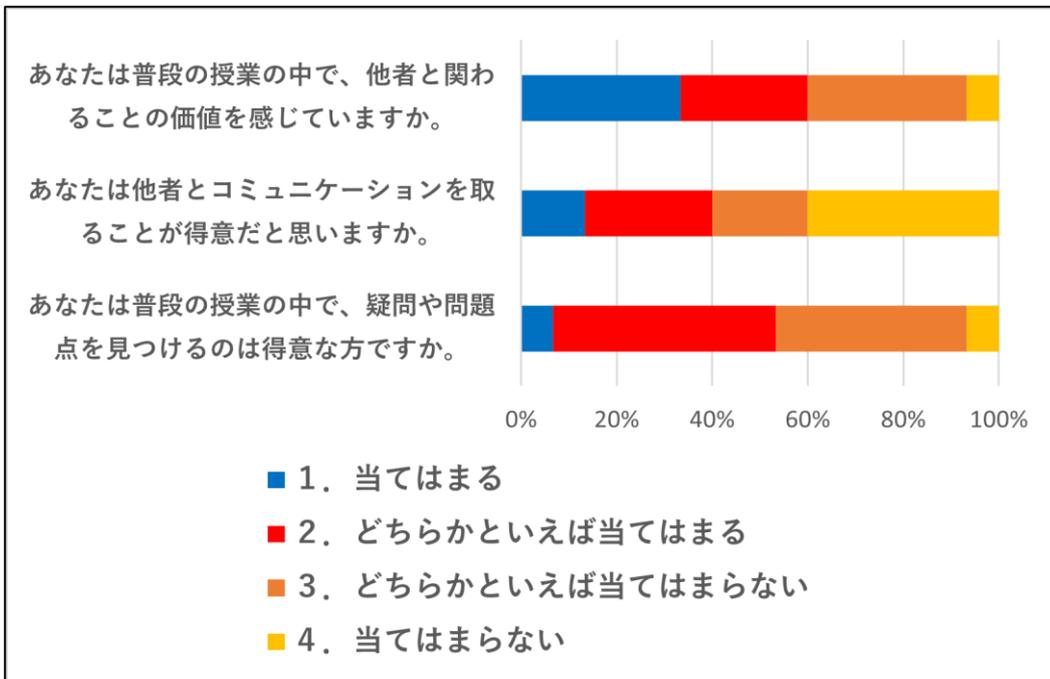


図1 総合的な探究の時間に関する事前調査（n=15）

5 指導観

指導に当たっては、実社会に関連する課題や、自己の希望進路の実現方法を考察する過程の中で、将来のキャリア形成の方向性を捉えることができるように学習を進めていきたい。学習指導要領に示されている「探究の過程」の4つのプロセス「①課題の設定」「②情報の収集」「③整理・分析」「④まとめ・表現」を経験できるように計画している。本校の総合的な探究の時間の目標には「自己の意見や考えを的確にまとめ、他者に伝えるコミュニケーション能力を培い、現代社会に適応できる自己表現能力を養う」と示されているので、志望動機の記述、面接指導、自ら設定した課題に対する回答の説明等の手立てを通して、「④まとめ・表現」に重点を置いている。また、作成した志望動機を他者に確認してもらったり、発表した内容に関する感想や質問をもらったりすることで、他者から多様な意見をもらい、自分の視点を広げることができることを実感させたい。なお、本研究での「多くの他者」は、第3学年の生徒及びその保護者を対象としている。

6 研究主題との関連

(1) 目指す授業像

視点①

自らが目指す将来の姿のイメージを発表し、その発表に対する多くの他者からの意見を取り入れることで、発表内容の精度を更に上げることができる授業。

視点②

探究の過程4つのプロセスに沿った一連の活動を経験し、その活動を振り返ることで、生徒同士が互いのよさを実感し、今後の更なる探究活動につながるような動機付けがなされる授業。

(2) 目指す授業像に迫る手立て

視点①について

生徒自らが目指したい将来の姿を具体的にイメージしてまとめ、他者に対して発表するという課題を設定する。3年3組の生徒だけでなく、他クラスの生徒、及び保護者を対象にまとめた内容を発表する。発表後、発表を聞いた他者から感想をもらうことにより、多くの他者からの意見が自らの考えを更に広げてくれることを実感できるようにする。

視点②について

学習指導要領の探究の4つのプロセス「①課題の設定」「②情報の収集」「③整理・分析」「④まとめ・表現」を意識した活動を経験させ、一連の活動について生徒同士で意見を共有し、その結果をオンラインアンケートフォームで振り返らせる。その際「他者からの意見や質問で気付いたこと」「今後どのような学びにつなげていきたいか」を入力させることにより、新たな探究活動につなげることができるようにする。

7 単元の指導と評価規準

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①自らの進路についての調べ学習や面接指導を通して、進路実現に向けて必要な知識が身に付いている。</p> <p>②志望動機の作成を通し、自らの考えを言語化する方法が身に付いている。</p>	<p>①実社会と関連した課題に対して、自らの考えをまとめ、表現している。</p> <p>②模擬面接等を通して、自らの考えを的確に伝えることができる。</p>	<p>①自らが設定した課題に真摯に向き合い、他者の異なる立場からの考えを受け入れ、それらを自らの問いの解決に生かそうとしている。</p> <p>②自らの進路について、多様な考えを取り入れつつ、主体的に調べようとしている。</p>

(2) 単元の全体計画（11時間扱い 本時9/11）

時	主たる学習活動【探究のプロセス】	知	思	態	評価方法
1	<p>・自らが希望する進路に関する情報を集める。</p> <p>【情報の収集】</p>			②	<p>・観察</p> <p>・ワークシート</p>
2	<p>・「製造系の企業にとって、高校3年生に身に付けてほしい資質・能力は『〇〇力』である」の〇〇に当てはまる語句を、企業の資料やホームページで調べたことを基に、比較検討する。</p> <p>【課題の設定、情報の収集、整理・分析】</p>	①	①		<p>・観察</p> <p>・ワークシート</p>
3 授業実践Ⅰ	<p>・「製造系の企業にとって『〇〇力』はなぜ大切なのか」について、グループごとに考えを発表する。</p> <p>・発表を聞いた生徒は、発表の感想を伝え、1つ以上質問をする。</p> <p>・他者の考えを取り入れ、発表内容を修正する。</p> <p>【まとめ・表現】</p>		①		<p>・観察</p> <p>・生徒の成果物</p> <p>・オンラインアンケートフォーム</p>
4	<p>・志望動機の書き方を学び実際に書いて練習する。</p> <p>【情報の収集、まとめ・表現】</p>	②			<p>・志望動機練習プリント</p>
5	<p>・面接での基本的な質問に対する自らの考えを書き出した上で、模擬面接で実際の受け答えを体験する。</p> <p>【整理・分析、まとめ・表現】</p>	②			<p>・ワークシート</p> <p>・面接練習用プリント</p>
6	<p>・第5時での反省点を踏まえ、生徒同士で面接相手を変えながら面接練習を行う。なお、面接官役の生徒は、過去の面接での質問事項の用紙を参考にする。</p> <p>【整理・分析、まとめ・表現】</p>			②	<p>・観察</p> <p>・面接練習用プリント</p>
7	<p>・第6時での反省点を踏まえ、生徒同士で面接相手を変えながら面接練習を行う。なお、面接官役の生徒は過去の面接での質問事項の用紙を参考にする。</p> <p>・主に進学希望の生徒は、教師の添削を受けながら、志望動機を完成させる。</p> <p>【整理・分析、まとめ・表現】</p>		②	②	<p>・観察</p> <p>・志望動機練習プリント</p>

8	<p>・「〇〇年後、社会人になったあなたに対して母校である南三陸高等学校から『本校の卒業生であるあなたに、社会人講話の講師として本校の生徒たちに対してあなたのエピソードを話してほしい』という依頼がありました。あなたは母校の生徒たちに対して、何を伝えますか。現在の希望進路に進むことができたとして、なりたい自分の姿、その時に想定される社会状況等について具体的にイメージし、まとめた内容を2分間で発表してください。ただし、発表形式は問わず、〇〇に当てはまる年数は自ら設定してよいものとします」という課題を提示し、第9時での発表に向けた準備を行う。 【課題の設定、情報の収集、整理・分析】</p>		①	<p>・ワークシート</p>
9 授業実践II	<p>・第8時でまとめた考えを、多くの他者に向けて発表する。 ・発表を聞いた生徒は、評価規準シートを基に、発表者に感想を伝える。 【まとめ・表現】</p>		①	<p>・観察 ・生徒の成果物 ・オンラインアンケートフォーム</p>
10	<p>・生徒一人一人が第9時を通してまとめた内容を教師が聞き、他者からのフィードバックで変化した点について評価する。 ・第9時での発表を振り返って学んだことを、生徒一人一人が面接練習や必要書類の作成等、自分の希望進路に応じた活動に生かす。 【整理・分析、まとめ・発表】</p>		①	<p>・観察 ・生徒の各端末で自分自身の発表の様子を録画する</p>
11	<p>・生徒一人一人が、面接練習や必要書類の作成等、自分の希望進路に応じた活動に取り組む。 【整理・分析、まとめ・発表】</p>		①	<p>・観察 ・生徒の成果物</p>

8 本時（進路探究⑨）の計画

(1) 目標

自らが目指す将来の姿のイメージを他者に発表する活動を通して、多くの他者と関わることの有用性を実感し、自らの進路を広く捉えるための新たな気付きや考えを持つことができるようにする。

(2) 本時の指導に当たって

第8時に、本時の課題につながる活動を行う。活動は、第3学年全体（3年1組8名、3年2組24名、3年3組15名 計47名）で行う。本時の課題は以下の通りであり、第8時では生徒一人一人が発表内容についてまとめる。

「〇〇年後、社会人になったあなたに対して母校である南三陸高等学校から『本校の卒業生であるあなたに、社会人講話の講師として本校の生徒たちに対してあなたのエピソードを話してほしい』という依頼がありました。あなたは母校の生徒たちに対して、何を伝えますか。現在の希望進路に進むことができたとして、なりたい自分の姿、その時に想定される社会状況等について具体的にイメージし、まとめた内容を2分間で発表してください。ただし、発表形式は問わず、〇〇に当てはまる年数は自ら設定してよいものとします」

本時の課題を上記のように設定したのは、卒業後の自らの将来について多くの他者からの意見を基に見つめ直すことで、より広い視野でイメージを具体化できることを実感させたいと考えたからである。

第8時では、課題設定の趣旨と発表当日の流れを伝える。一人一人が発表内容を考え、準備をする。その際、友人と協力しながら作成しても構わないと伝える。本時の発表について3学年の保護者宛て

に案内を出し、参観を希望する保護者からも意見をいただくことで、より多様な視点から自らの将来の姿を捉えることができるようにする。

発表は、教員側で設定した3名グループに分かれるよう指示し、グループ内で1名ずつ2分間の発表を行う。発表の後、3分間振り返りの時間を取る。3名とも発表が終わったら、教員側で設定した新しい3名グループに分かれるよう指示する（同じ生徒同士にならないよう留意する）。新しいグループに分かれた後、1回目の発表の振り返りを踏まえ、新たに気付いた部分を修正して発表するよう伝える。

(3) 指導過程

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけや留意点	評価規準 (評価方法)
導入 5分	<p>1 本時の課題を説明する。 「〇〇年後、社会人になったあなたに対して母校である南三陸高等学校から『本校の卒業生であるあなたに、社会人講話の講師として本校の生徒たちに対してあなたのエピソードを話してほしい』という依頼がありました。あなたは母校の生徒たちに対して、何を伝ええますか。現在の希望進路に進むことができたとして、なりたい自分の姿、その時に想定される社会状況等について具体的にイメージし、まとめた内容を2分間で発表してください。ただし、発表形式は問わず、〇〇に当てはまる年数は自ら設定してよいものとします」</p>	一斉	<p>○どの生徒も自分が持っている価値観や考えを持っており、他の生徒から学ぶものは多いことを伝える。 ○発表を聞いた生徒には、評価規準シートを基にして、発表者のためになるような感想を伝えるよう指示する。 ○保護者の方に「良かった点、気になった点を含めた感想を、発表直後の振り返りの時間か、授業の最後に掲示するオンラインアンケートフォームにて、発表者に伝えていただくこと」を伝える。</p>	
展開 40分	<p>2 生徒一人一人がまとめた内容を発表する。 1 ターン目 別紙記載の3人グループに分かれて発表順を決め、1人ずつ発表する。 (1) 1人目 (発表2分・振り返り3分) (2) 2人目 (発表2分・振り返り3分) (3) 3人目 (発表2分・振り返り3分)</p> <p>1 ターン目の発表終了後、評価規準シートに照らし合わせて望ましいと感じた生徒たちの行動について教員から全体にフィードバックし、1ターン目を経て新たに気付いたこと等を次の発表に取り入れる時間を設ける。(5分)</p> <p>2 ターン目 別紙を参考に、新たな3人グループに分かれる。分かれた後は発表順を決め、1人ずつ発表する。 (1) 1人目 (発表2分・振り返り3分)</p>	グループ	<p>○移動ができていない生徒がいたら、移動場所を確認する。 ○評価規準シートに照らして良い発表が見られたら、次の発表者に移る前に全体に伝える。 ○2人グループには、3人目の発表は自由に移動して聞きに行つてよいことを伝える。 ○1ターン目の発表内容やもらった感想を踏まえて、何か1つでも気付いたことを自らの発表内容に生かすよう指示する。</p> <p>○1ターン目と同様に、評価規準シートに照らし合わせて良い発表が見られたら、次の発表者に移る前に全体に伝える。</p>	【思】生徒の成果物

	(2) 2人目 (発表2分・振り返り3分) (3) 3人目 2ターン目終了後、1ターン目と比較して変化した部分等について、全体にフィードバックする。(5分)			
振り返り 5分	3 本時の発表を振り返る。 1ターン目のグループに戻り、本時の感想を共有する。(3分) 記述式のオンラインアンケートフォームを用いて、本時の活動を振り返る。(2分)	グループ	○1ターン目と比べて2ターン目で変化した点に焦点を当てるよう指示する。 ○オンラインアンケートフォームにタブレット端末から感想を入力するよう指示する。 ○保護者向けにもオンラインアンケートフォームを作成し、可能な範囲で本時の感想を入力していただく。	【思】オンラインアンケートフォーム

(4) 本時の評価

評価の観点	評価規準	十分満足できる (A)	努力を要する生徒 (C) への手立て
思考力・判断力・表現力	①自らが設定した将来の社会について、現在のデータを踏まえてその時の社会状況を言語化することができる。 ②他者の意見を取り入れながら、自らの意見を適切に表現することができる。	①将来の社会状況を現在のデータから想像し、言語化できる。 ②他者からの意見を取り入れて、自らが目指す社会人の姿をより具体的に表現することができる。	①生徒が想定している社会について聞きつつ、いくつかの具体例をあげて方向性を示す。 ②他者からの感想を受けて感じたことを聞き、教師がその生徒の気づきを伝えることで可視化する。

(5) 準備物

- ① 教師：ノートパソコン、振り返り用のオンラインアンケートフォーム、ワークシート（評価規準シート含む）、
本時の流れプリント

- ② 生徒：筆記用具、タブレット端末、その他発表に必要なもの

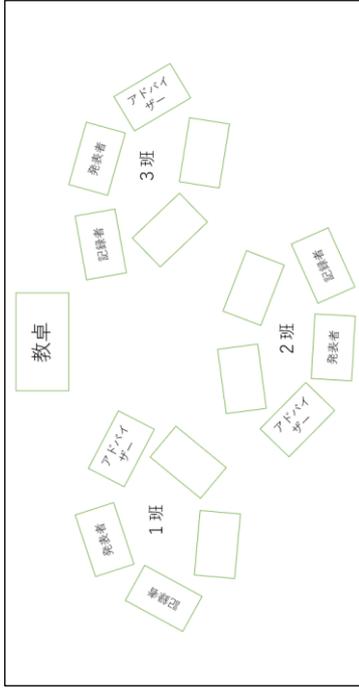
(6) 板書計画（本実践では第1体育館のスクリーンに以下を投影した）

<p>【本時の課題】 「〇〇年後、社会人になったあなたに対して母校である南三陸高等学校から『本校の卒業生であるあなたに、社会人講話の講師として本校の生徒たちに対してあなたのエピソードを話してほしい』という依頼があった。あなたは母校の生徒たちに対して、何を伝えますか。現在の希望進路に進むことができたとして、なりたい自分の姿、その時に想定される社会状況等について具体的にイメージし、まとめた内容を2分間で発表してください。ただし、発表形式は問わず、〇〇に当てはまる年数は自ら設定してよいものとします」</p> <p>【発表形式】 ①発表（2分） ②振り返りタイム（3分）</p>	<p>タブレット端末のタイマーを画面ミラーリングで投影し、展開での発表と、感想を共有する時間の可視化を行う。</p>
--	--

表1 授業実践Iのワークシート

() 組 () 番 氏名 ()

	1ターニング目		2ターニング目		3ターニング目	
	①発表 表：2分	②質疑応答：5分	①発表 表：2分	②質疑応答：5分	①発表 表：2分	②質疑応答：5分
1班に 残る	発表	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ
①-2	記録		発表		発表	
①-3	アドバイザ		アドバイザ		アドバイザ	
指定の場所 へ移動	2班	3班	2班	3班	2班	3班
①-4						
①-5						
2班に 残る	発表	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ
②-1	記録		発表		発表	
②-2	アドバイザ		アドバイザ		アドバイザ	
②-3						
指定の場所 へ移動	1班	3班	1班	3班	1班	3班
②-4						
②-5						
3班に 残る	発表	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ	アドバイザ
③-1	記録		発表		発表	
③-2	アドバイザ		アドバイザ		アドバイザ	
③-3						
指定の場所 へ移動	1班	2班	1班	2班	1班	2班
③-4						
③-5						



質問の観点	
質問の観点	具体的な質問例
(1) 意味	・それはどういう意味ですか。 ・その言葉の意味を教えてください。
(2) 理由	・そう考えた理由を教えてください。 ・どうしてそう思ったのですか。
(3) 具体的な証拠	・根拠となる資料がありますか。 ・具体例を教えてください。
(4) 検証方法	・本当にそうでしょうか。 ・それはどれくらい確かめましたか。
(5) その他の場合	・それはどのようなケースでも当てはまりますか。 ・こういう場合はどうでしょうか。 ・例外はありますか。

総合的な探究の時間 進路探究③ ワークシート

【MEMO】

- ・記録の生徒はここに質疑応答の内容や気付いた点等を記録してください。
- ・記録以外の生徒は、発表や質疑応答で気付いた点等を自由に記入してください。

1ターニング目

2ターニング目

3ターニング目

表2 授業実践Ⅱのワークシート

総合的な探究の時間 ワークシート

() 組 () 番 氏名 ()

【評価規準シート】

A	B	C
<p>① 発表の内容 南三陸高校の生徒たちが、将来について前向きな印象を持てるような内容だったか。</p> <p>② 伝え方 聞き取りやすい速さと声量で、高校生がわかりやすい表現で伝えていたか。</p>	<p>将来の社会的背景を前提に、自らの将来の姿を明確にイメージしており、在校生を激励するメッセージが込められている。</p> <p>発音が明瞭で聞き取りやすい話し方であり、原稿をなるべく見ないで、聞き手の方を向いて伝えようとしている。</p> <p>聞き取りやすい話し方であり、原稿を見ながら伝えようとしている。</p>	<p>将来の姿が漠然としており、在校生へのメッセージがほとんど込められていない。</p> <p>発音が不明瞭で、聞き取りづらい話し方であり、常に原稿を見ながら話している。</p>

〇〇年後、社会人になったあなたに対して母校である南三陸高等学校から「本校の卒業生であるあなたに、社会人講話の講師として本校の生徒たちに対してあなたのエピソードを話してほしい」という依頼がありました。あなたは母校の生徒たちに対して、何を伝ええますか。現在の希望進路に進むことができたとし、なりたいたい自分の姿、その時に想定される社会状況等について具体的にイメージし、まとめた内容を2分間で発表してください。

〇本日のスケジュール

1 ターン目

① 1人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

② 2人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

③ 3人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

発表内容の修正 (5分)

2 ターン目

① 1人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

② 2人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

③ 3人目の発表 (2分) → 振り返り (3分)

感想のシェア (3分)

感想入力

※注意点

- ・将来の自分になりきって発表してください。
- ・発表形式は問いません。パワーポイント、口頭、何でも大丈夫です。
- ・今日の授業は「色々な人からの意見が、自分の視野を広げてくれる」ことを実感できるようにすることがねらいです。そのため、振り返りの時間での感想や質問がととても重要な意味をもちます。評価規準シートに沿った感想だけでなく、気になった点等があれば、ぜひ色々質問してみてください。保護者の皆様も、振り返りの時間にぜひ感想や質問を生徒たちにお伝えいただけたいと思います。質問に関しては、右に記載した質問例を参考にしてください。

【質問例】

- ・なぜその職業に就きたいと思ったの？
- ・〇〇年後を選んだ理由は？
- ・〇〇をもう少し詳しく知りたい。
- ・高校時代ががんばったことは？

【MEMO】